

## 現代英語学科

## シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
1年	9	国際文化
1年	21～22	Listening I
1年	50	ビジネスプロトコール
1年	55	キャリア形成演習 I
1年	56	キャリア形成演習 II
1年	60	総合演習 I (金井ゼミ)
2年	71	歴史と文化
2年	76～77	Oral Communication III
2年	82～83	Media English
2年	89	Drama Workshop
2年	90	観光ビジネス論
2年	91	フランス語 II
2年	100～101	総合演習 III (小松ゼミ)
-	109	実務経験を有する教員一覧

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
		●			●

<b>科目ナンバリング</b>
CE-0-HCU-03

科目名	国際文化				単位 認定者	スミス アンソニー		評価の 方法	試験(筆記)	50	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
				授業形態	講義	授業回数	15 回				

**授業の概要**  
国際社会が身近になる中で、異なる文化背景を有する他者との共存、それに伴う異文化理解を求められている。英語を専門として学修する者にとっては取り分け、英語圏文化背景への知識が必要となる。本講義では、必須の教養と従来から言われてきた、「ギリシャ・ローマ神話、聖書、シェイクスピア」の三本の柱を建てて、西洋社会、英語圏文化へのアプローチを試みる。

**到達目標**  
本講義では、英語圏社会との関わりにおいて、必須とされる「教養」の基本を知ること、言語への理解を含めて、文化理解を深めることを目標とする。

**学修者への期待等**  
受講者間でのディスカッションやコメントシートなど、授業の内容に関して自身の意見をアウトプットする時間を設ける。アクティブラーニングを期待する。

回	授業計画	準備学修
1	授業ガイダンスとギリシャ・ローマ神話への導入	
2	創世神話 ① ガイアとウラノスを中心に	資料精読 (概ね30分)
3	創世神話 ② クロノスとレアを中心に	資料精読 (概ね30分)
4	ダイダロスとイカロス	資料精読 (概ね30分)
5	オルペウスとエウリュディケ	資料精読 (概ね30分)
6	ペルセウスとメドゥーサ	資料精読 (概ね30分)
7	テセウスとミノタウルス	資料精読 (概ね30分)
8	ギリシャ・ローマ神話の翻案、パロディーなど	資料精読 (概ね30分)
9	キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の世界	資料精読 (概ね30分)
10	旧約聖書 創世記から出エジプトまで	資料精読 (概ね30分)
11	新約聖書 四つの福音書を中心に	資料精読 (概ね30分)
12	アメリカ大統領とキリスト教	資料精読 (概ね30分)
13	イスラム教の聖典に描かれている「ノアの箱舟」	資料精読 (概ね30分)
14	シェイクスピアの四大悲劇 ① ハムレットとオセロ	資料精読 (概ね30分)
15	シェイクスピアの四大悲劇 ② マクベスとリア王	資料精読 (概ね30分)
<b>教科書</b>	講義にてプリントを配布する	
<b>参考文献</b>	講義中に適宜指示する。	
<b>備考</b>	状況により遠隔授業に変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-03				
	●	●								
科目名	Listening I				単位 認定者	相田 明子 (A)		授業内課題等	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の 方法	受講態度	30 %
						授業時間数	60 時間			
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	<p>本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。</p> <p>さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。</p>									
到達目標	<p>基礎的なリスニング力を身に付け、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>カンヌ国際広告賞を受賞したTVコマーシャルを題材に扱ったテキストを採用する。約30秒という時間の中に効果的なメッセージを込めたTVコマーシャルはリスニング素材としても非常に有用である。予習段階で、該当する章の語彙やテーマに関して理解を深め、必要に応じて周辺知識の調査をしておくこと。また、授業内でおこなうスキットのロールプレイ、コマーシャルの主題に関するディスカッションの際には、積極的な参加が期待される。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	<p>本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。</p> <p>Unit 1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices①</p> <p>1. Preliminary Reading～3. Reading Comprehension</p>				<p>Unit 1 TV Commercialの視聴</p> <p>テキスト Unit 1 Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)</p>					
2	<p>Unit 1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices②</p> <p>Task for TV Commercials No.1 and No. 2</p> <p>4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク。</p>				<p>テキストUnit 1 Transcript Completionの内容を理解する</p> <p>新出語彙の確認 (概ね1時間程度)</p>					
3	<p>Unit 2 - This Calls for a Bud Light①</p> <p>1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension</p>				<p>Unit 2 TV Commercialの視聴</p> <p>テキストUnit2Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)</p>					
4	<p>Unit 2 - This Calls for a Bud Light②</p> <p>Task for TV Commercials</p> <p>4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク</p>				<p>テキストUnit 2 Transcript Completionの内容を理解する</p> <p>新出語彙の確認 (概ね1時間程度)</p>					
5	<p>Unit 3 - Anti-Discrimination Campaign①</p> <p>1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension</p>				<p>Unit 3 TV Commercialの視聴</p> <p>テキストUnit3Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)</p>					
6	<p>Unit 3 - Anti-Discrimination Campaign②</p> <p>Task for TV Commercials</p> <p>4. Vocabulary Preview ～ 10.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク</p>				<p>テキストUnit 3 Transcript Completionの内容を理解する</p> <p>新出語彙の確認 (概ね1時間程度)</p>					
7	<p>Unit 4 - McDonald's-King of Fast-Food Restaurant①</p> <p>1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension</p>				<p>Unit 4 TV Commercialの視聴</p> <p>テキストUnit4対応箇所の予習 (概ね1時間程度)</p>					
8	<p>Unit 4 - McDonald's-King of Fast-Food Restaurant②</p> <p>Task for TV Commercials No.1 and No. 2</p> <p>4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク</p>				<p>テキストUnit4 Transcript Completionの内容を理解する</p> <p>新出語彙の確認 (概ね1時間程度)</p>					
9	<p>Unit 5 - Relax, it's FedEx.①</p> <p>1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension.</p> <p>Unit1～4の単語テスト</p>				<p>Unit 5 TV Commercialの視聴</p> <p>テキストUnit5Preliminary Reading 予習 単語テストの準備 (概ね1時間30分程度)</p>					
10	<p>Unit 5 - Relax, it's FedEx.②</p> <p>Task for TV Commercials No.1 and No. 2</p> <p>4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク</p>				<p>テキストUnit 5 Transcript Completionの内容を理解する</p> <p>新出語彙の確認 (概ね1時間程度)</p>					
11	<p>Unit 6 - BMW-A Car beyond Reason①</p> <p>1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension</p>				<p>Unit 6 TV Commercialの視聴</p> <p>テキストUnit6Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)</p>					
12	<p>Unit 6 - BMW-A Car beyond Reason②</p> <p>Task for TV Commercial</p> <p>4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク</p>				<p>テキストUnit 6 Transcript Completionの内容を理解する</p> <p>新出語彙の確認 (概ね1時間程度)</p>					

回	授業計画	準備学修
13	Unit 7 - Banking for the Filthy Rich① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 7 TV Commercialの視聴 テキストUnit7Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)
14	Unit 7 - Banking for the Filthy Rich② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 7 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
15	Unit 1 ~ Unit 7の総まとめ	今までに学修したことを復習すること。 (概ね2時間程度)
16	Unit 8 - Learning Languages① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 8 TV Commercialの視聴 テキストUnit 8 Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)
17	Unit 8 - Learning Languages② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 8 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
18	Unit 9 - Pepsi-Ask for More① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension. Unit 5~の単語テスト	Unit 9 TV Commercialの視聴 テキストUnit9 Preliminary Reading 予習 単語テストの準備 (概ね1時30分程度)
19	Unit 9 - Pepsi-Ask for More② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 9 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
20	Unit 10 - United Nation Development Programme① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 10 TV Commercialの視聴 テキストUnit10 Preliminary Reading予習 (概ね1時間程度)
21	Unit 10 - United Nation Development Programme② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 10 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
22	Unit 11 - Disney-Magic Happens① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 11 TV Commercialの視聴 テキストUnit11Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)
23	Unit 11 - Disney-Magic Happens② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 11 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
24	Unit 12 - Coca-Cola-For Everyone① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 12 TV Commercialの視聴 テキストUnit12 Preliminary Reading予習 (概ね1時間程度)
25	Unit 12 - Coca-Cola-For Everyone② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 12Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
26	Unit 13 - Anti-Smoking Campaign① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension. Unit 9~12の単語テスト	Unit 13 TV Commercialの視聴 テキストUnit13 Preliminary Reading予習 単語テストの準備 (概ね1時間30分程度)
27	Unit 13 - Anti-Smoking Campaign② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 13 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
28	Unit 14 - Counterfeit Mini Coopers① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 14 TV Commercialの視聴 テキストUnit14 Preliminary Reading予習 (概ね1時間程度)
29	Unit 14 - Counterfeit Mini Coopers② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit14Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
30	Unit 8~Unit 14の総まとめ	今までに学修したことを復習すること。 (概ね2時間程度)
教科書	「English in 30 Seconds」Masayuki Aoki 2018 南雲堂	
参考文献		
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-01				
			●		●					
科目名	ビジネスプロトコール				単位認定者	加藤 雅子		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	<p>ビジネスシーンをはじめとする国際的な交流の場面では、歴史、文化、言語などの違いから、誤解が生ずることもある。無用の誤解を避け、相互理解を促し、円滑な国際交流を行うための共通認識であるプロトコールについて、基礎的な知識や技能を身につける。</p> <p>また、プロトコールは絶対的な規則ではなく、時代、地域や国、会合の趣旨等によって柔軟に運用されるものであることも理解する。</p>									
到達目標	<p>マナーの意味・重要性を修得する。国際プロトコールの原則を理解し説明できる。</p> <p>日本のビジネスにおける慣習と冠婚葬祭のしきたりについて理解し説明できる。</p>									
学修者への期待等	<p>全ての項目が普段の生活・社会生活で活かせるものです。積極的に受講し吸収すること。</p> <p>また、本講義の性質上、不適切な受講態度には厳しく対処するので、己を律して受講すること。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	マナーとは何か（マナー・エチケット・礼儀・作法・プロトコール）、マナーの歴史と意味				テキスト序章「マナーとは何か」と第1章「マナーの歴史と意味」を読んでおく。（概ね30分程度）					
2	国際人としてのプロトコール（1）（プロトコールの原則・席次例・社交の場でのコミュニケーション・挨拶と紹介）				テキスト第2章1節「プロトコールの原則」～4節「挨拶と紹介」を読んでおく。1分半程度の自己紹介の練習をしておく。（概ね30分程度）					
3	国際人としてのプロトコール（2）（外国人への贈り物、国旗の扱い、礼拝の場でのマナー、異文化コミュニケーション）				テキスト第2章5節「外国人への贈り物」～8節「異文化コミュニケーション」を読んでおく。（概ね30分程度）					
4	社会人に必要なマナー（1）（好印象を与えるコミュニケーション）				テキスト第3章1節「好印象を与えるコミュニケーションとは」を読んでおく。（概ね30分程度）					
5	社会人に必要なマナー（2）（服装、贈答、手紙）				テキスト第3章2節「服装のマナー」～4節「手紙のマナー」を読んでおく。敬語と言葉遣いを復習しておく。（概ね30分程度）					
6	食事のマナー				テキスト第5章「食事のマナー」を読んでおく。（概ね30分程度）					
7	お酒のマナー				テキスト第6章「お酒のマナー」を読んでおく。（概ね30分程度）					
8	社会人としての心構え（会社の仕組み、指示・命令の受け方、報告・連絡・相談）				テキスト第4章2節「社会人としての心構え」を読んでおく。（概ね30分程度）					
9	電話応対ロールプレイング				復習として電話応対の実技を行う。（概ね30分程度）					
10	来客応対ロールプレイング				復習として来客応対の実技を行う。（概ね30分程度）					
11	ビジネス文書の種類と書式				テキスト第4章7節「ビジネス文書」を読んでおく。（概ね30分程度）					
12	社外文書と社内文書の作成				復習としてビジネス文書を作成する。（概ね30分程度）					
13	「冠」と「婚」のしきたり				テキスト第7・8章で「冠」「婚」のしきたりを予習しておく。（概ね30分程度）					
14	「葬」と「祭」のしきたり				テキスト第9・10章で「葬」「祭」のしきたりについて予習しておく。（概ね30分程度）					
15	全体の復習及び重点項目の確認				これまでの講義全体を振り返り、内容を明確にしておく。（概ね30分程度）					
教科書	「マナー&プロトコールの基礎知識（第3版）」NP0法人日本マナー・プロトコール協会									
参考文献	「最新版「さすが！」といわせる大人のマナー講座」日本マナー・プロトコール協会著 PHP研究所									
備考	本科目の内容は「マナー・プロトコール検定2級・3級」に繋がる。状況により、遠隔授業になる場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

実務経験の概要：元大手航空会社国際線CA、CA教官。2016年6月7日語学ボランティアマナー研修担当。東京2020大会向け「チーム宮城おもてなし」パネラー等。

実務経験と授業科目との関連性：実務経験を活かした講義内容を実施。実践・ケーススタディー等を通して、国際プロトコール及びビジネスマナーを身につけることを目指す。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-05					
			●	●							
科目名	キャリア形成演習 I				単位認定者	川出 裕佳		<th>評価の方法</th> <td>レポート(LMS)</td> <td>60 %</td>	評価の方法	レポート(LMS)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題等	30 %	
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	10 %
							授業回数		15 回		
授業の概要	<p>「社会の動きの意識的な観察を行いどのような分野に関わり、どのように自身を活かしていくかをシミュレーションする」「働く意味について考え、学生各自が自らの将来をイメージできるようにする」ことから、職業意識を涵養していく。また、グループワークを通して、自己と他者の価値観の違いに気づき、他者を尊重しつつ、自分の意見や主張を論理的に話す力を養う。さらには、自分自身がイメージした将来の姿に到達するために必要な計画を立てられるようにする。</p>										
到達目標	<p>①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。          ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。          ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。          ④語学力を生かしたグローバル人材として活躍するための大学生活をプランニングできる。</p>										
学修者への期待等	<p>充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークや実践家を招いたフリートークを通して自分の意見を積極的に発言することを期待します。</p>										
回	授業計画				準備学修						
1	ガイダンス, 大学生生活とキャリア				グループワークを通したブレインストーミングを行います。						
2	自分自身を知る I 発達理論からのアプローチ				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
3	自分自身を知る II 社会学的アプローチ				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
4	「働くこと」ー社会が求める人材像ー				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
5	社会や企業の現状と課題				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
6	国際比較からみた日本の労働現状				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
7	若者と労働：フリータ、ニート、ブラック企業、パラサイトシングル、パラサイトダブル				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
8	若者の貧困、格差				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
9	ライフイベント：就学、就職、結婚、出産				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
10	ワークライフバランスとジェンダー視点				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
11	グローバル社会に求められる力とは				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
12	労働者とセーフティーネット				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
13	キャリア形成と求められる基礎能力				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
14	事例で考えるライフデザイン				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
15	キャリアプランの発表				ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)						
教科書	<p>特に用いない。講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。          講義で随時配る資料はファイルしておくこと。</p>										
参考文献	<p>必要に応じて適宜紹介する。</p>										
備考	<p>本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することが望ましい。          受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になった場合は事前に連絡する。</p>										
<p>※以下は該当者のみ記載する。</p>											
<p><b>実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)</b></p>											
<p>現在キャリア関係会社にて勤務。公共機関で勤務等10年以上の実務経験を持つ。</p>											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-06			
			●	●					
科目名	キャリア形成演習Ⅱ				単位認定者	加藤 雅子		授業内課題	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	受講態度	30 %
					授業形態		演習	授業回数	30 時間
							15 回		
授業の概要	業界研究、企業研究を实践、グループワークやディスカッション、プレゼンテーション、各分野の専門家による講義も導入していく。これにより現代社会の動向を捉え、全体性の中での仕事・学生自分の役割や価値への気づきを創っていく。既存の職業にこだわらず、キャリア形成に係る研究や他者とのディスカッションを通して、活躍の分野を切り拓くことにも観点が向き、学生それぞれに独自性や企画力が反映されたキャリアプランが作成される。								
到達目標	①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。 ④語学力を生かしたグローバル人材として活躍するための大学生活をプランニングできる。								
学修者への期待等	充実した学生生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワーク等では積極的に取り組み、発言すること。								
回	授業計画				準備学修				
1	働くとは、就活準備の心構え				前期既習内容を復習しておくこと。自分が働くイメージをより具体的にしておくこと。(概ね30分程度)				
2	就活マナー(第一印象の重要性、敬語と言葉遣い、面接マナー)				配布資料を読み、ポイントを押さえて練習しておくこと。(概ね30分程度)				
3	社会で必要となるコミュニケーションスキル				気になる業界ニュースを選び、自分の意見を1分間で話せるように準備しておくこと。(概ね30分程度)				
4	キャリアデザイン(ライフライン・チャート、マインドマップ作成)、人生100年時代を豊かに生きる(社会人基礎力)				自分のこれまでの(小学生～現在)歴史を印象深いイベントや出来事と絡め振り返っておく。また今後の生き方を具体的に考えておくこと。(概ね30分程度)				
5	職業理解①(業界・職種・企業研究)				自分の目指す業界・職種・企業について調べておくこと。 ※別途授業中に説明する。(概ね30分程度)				
6	職業理解②(グループワーク及び発表)				自分が目指す業界や企業に関するニュース、情報を収集し、意見・感想を纏めておくこと。(概ね30分程度)				
7	現代社会の動向、社会情勢、経済から将来の職業を考える				新聞やニュース、ネットからの情報から今後の社会、経済を考え、ディスカッション出来るように準備しておくこと。(概ね30分程度)				
8	就職活動の進め方、求人票の見方、履歴書の書き方				自分の目指す企業の求人票(2021年版)を見て、自分の就活の進め方、スケジュールを考えておくこと。(概ね30分程度)				
9	魅力ある応募書類の書き方(エントリーシート、履歴書)				自己分析を行い、強み、弱みを書き出してくること。裏付ける個性溢れる理由、エピソードを準備する。(概ね30分程度)				
10	面接講座(面接の種類と実施の目的、面接のポイント、模擬面接)				面接で質問される内容を想定し、面接マナーも含め、受け答えの練習をしておくこと。(概ね30分程度)				
11	就職体験報告会(先輩から就職活動体験談及び質疑応答)				先輩に聞きたいことを準備しておくこと。(概ね30分程度)				
12	専門家による講義① ※学校側で手配 ※講義順番は調整				ご来校される専門家の業界について興味を持ち、新聞やニュース、ネットからの情報を収集してください。(概ね30分程度)				
13	専門家による講義②				ご来校される専門家の業界について興味を持ち、新聞やニュース、ネットからの情報を収集してください。(概ね30分程度)				
14	専門家による講義③				ご来校される専門家の業界について興味を持ち、新聞やニュース、ネットからの情報を収集してください。(概ね30分程度)				
15	講座のまとめと総括:社会人とキャリア形成				これまでの総復習をしておくこと。(概ね30分程度)				
教科書	特に用いない。講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。講義で随時配る資料はファイルしておくこと。								
参考文献	「大学生のキャリアデザイントレーニング」見洋書房、「未来を拓くキャリア・デザイン講座」中央経済社、他。								
備考	本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することを期待する。受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になった場合は事前に連絡する。								
※以下は該当者のみ記載する。									
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手就職支援会社、教育会社にて大学生・高校生・中高年層の就職支援を行っている。</li> <li>・元大手航空会社で客室乗務員の教育を担当。</li> <li>・企業の採用人事担当者向けへのセミナーを担当。</li> </ul>									

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●	●	●	●	●

科目ナンバリング
CE-4-ESE-03

科目名	総合演習 I			単位認定者	金井 典子		評価の方法	試験 (レポート)	40	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数		1 単位	授業内課題等	40	%
					授業形態	演習		授業時間数	30 時間	受講態度	20
								授業回数	15 回		
授業の概要	<p>「基礎ゼミ」で学んだことを基に、さらなるコミュニケーション力の向上を目指す。          国際共通語として現代世界で利用されている英語について、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能の習得を通じて、自主的に、かつ、論理的に自分の考えを第三者に伝えるプレゼンテーション力を身につける。また、少人数のゼミを編成し、英語を用いて様々な場面や事柄について学び、グループワークや発表を行うことにより、実用的英語力を強化する。</p>										
到達目標	<p>作品の内容を理解し、朗読劇にまとめることができる。朗読劇に取り組むことにより、相手に伝えるための表現法を考え、実践することができる。グループで協力して取り組むことができる。</p>										
学修者への期待等	<p>発信型、グループ型の取り組みであるため、強調しながら積極的に取り組むことのできる学生の履修を希望する。          授業時間外にも、放課後や空き時間等にグループ練習が必要となることを理解し対応する。</p>										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の概要。グループ作り。英語学修課題の説明。					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
2	Reader's Theatre(朗読劇)とは何かを学ぶ。					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
3	(作品①)音読のための作品理解。					(事前)作品を読んで内容を理解する。(概ね1時間程度) (事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
4	(作品①)音声による表現方法。					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)音読練習を繰り返す。(概ね1時間程度)					
5	(作品①)群読の練習。効果的な表現方法とは。					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)発表会に向けて、練習する。(概ね2時間程度)					
6	(作品①)発表会と意見交換 グループディスカッション					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
7	(作品②)作品の理解(分担発表)					(事前)作品を読んで内容を理解する。(概ね2時間程度) (事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
8	(作品②)Reader's Theatreへの台本作成、担当分担					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)台本を完成させる。(概ね1時間程度)					
9	(作品②)表現の工夫、プロソディ					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)台本を音読練習する。(概ね2時間程度)					
10	(作品②)担当パートの練習、ピア・レビュー					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)音読練習をする。(概ね2時間程度)					
11	(作品②)発表会へ向けての予行練習					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)グループで練習する。(概ね2時間程度)					
12	(作品②)発表会への修正 グループディスカッション					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)グループで練習する。(概ね2時間程度)					
13	(作品②)作品発表会への最終確認と準備					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
14	(作品②)作品発表会と意見交換【合同開講：2年総合演習Ⅲ14回目】					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
15	活動の総括、総合演習Ⅱの募集					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
教科書	適宜、資料を配布する。										
参考文献	Sounds Like American: A Guide to Fluency in Spoken English. Ann Cook, Aushi Mishima. Cengage Learning.										
備考	状況により、遠隔授業に変更する場合がある。 履修人数により、Oral Communication Festivalへの参加を検討する。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)



学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング	
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-03	
				●	●		
科目名	歴史と文化				単位認定者	小原 豊志	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位
							授業時間数
				授業形態	講義	授業回数	
評価の方法	試験 (レポート)	70 %	授業内課題等		20 %		受講態度
授業の概要	本科目は英語を専門とする学生たちが教養として知っておくべき「歴史と文化」をアメリカ史を中心に学ぶ授業である。とりわけ、アメリカ合衆国における人種と宗教に焦点をあて、白人性と福音主義の生成・発展過程を追跡することにより、現代における人種差別問題や反知性主義現象を理解することを目指す。授業の前半部は黒人(奴隷)問題の展開について、後半部はアメリカ独特のキリスト教の展開について視聴覚教材を用いつつ講義を行う。受講生には授業の感想を提出してもらったり、お互いに意見交換をしてもらったりして、双方向の授業を展開する。						
到達目標	世界に対して大きな影響力を有するアメリカ合衆国のさまざまな歴史事象において人種や宗教がいかなる役割を演じたかを理解する。また、これによって、現代世界における人種(民族)差別問題や宗教的原理主義に対する洞察力を身につける。						
学修者への期待等	授業を理解するために、毎回必ず出席してください。歴史的事象を理解するのみならず、その事象が現代の世界にどのような影響を与えているかを考えるよう心がけてください。						
回	授業計画				準備学修		
1	現代アメリカの人種問題				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
2	「人種」とは何か				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
3	黒人奴隷制度とアメリカの独立				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
4	黒人奴隷制度とアメリカの発展				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
5	南北戦争と黒人解放				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
6	奴隷解放後の黒人問題				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
7	公民権運動と黒人問題				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
8	公民権運動後の黒人問題				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
9	現代アメリカとキリスト教				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
10	植民地期のキリスト教—ピューリタニズムと「大覚醒」				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
11	独立革命とキリスト教				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
12	第二次信仰復興運動				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
13	第三次信仰復興運動とキリスト教原理主義				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
14	『エルマー・ガントリー』と反知性主義				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
15	『ジーザス・キャンブ』に見るキリスト教原理主義				配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		
教科書	教科書は使用せず、授業において資料を配布します。						
参考文献	授業時に適宜指示します。						
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。						
※以下は該当者のみ記載する。							
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)							

科目ナンバリング
CE-2-EAD-01

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
		●			●

科目名	Oral CommunicationIII				単位 認定者	スミス アンソニー		評価の 方法	試験(筆記)	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	30 %
						授業時間数	60 時間		授業態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	30 回			

**授業の概要**  
「Oral CommunicationII」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長役割を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。

**到達目標**  
身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に、英語でディベートできる力を身につける。

**学修者への期待等**  
授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。Online WorkbookやAudio、Visual Materialを利用し、できるだけ抵抗や苦勞なく内容理解が進められるようにしてください。

回	授業計画	準備学修
1	Unit 1. Eating Well ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
2	Unit 1. Eating Well ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
3	Unit 2. Personality Types ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
4	Unit 2. Personality Types ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
5	Unit 3. Sports/Music ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
6	Unit 3. Sports/Music ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
7	Unit 4. Animal Rights ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
8	Unit 4. Animal Rights ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
9	Unit 5. Lifestyles ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
10	Unit 5. Lifestyles ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
11	Unit 6. Drinking/Smoking ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
12	Unit 6. Drinking/Smoking ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
13	Unit 7. Executive Salaries ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)

回	授業計画	準備学修
14	Unit 7. Executive Salaries ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
15	Unit 8. Endangered Species ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
16	Unit 8. Endangered Species ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
17	Unit 9. Abstract Art/Movies ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
18	Unit 9. Abstract Art/Movies ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
19	Unit 10. Man's Best Friend ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
20	Unit 10. Man's Best Friend ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
21	Unit 11. Gun Control ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
22	Unit 11. Gun Control ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
23	Unit 12. Population Control ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
24	Unit 12. Population Control ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
25	Unit 13. The Influence of Television ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
26	Unit 13. The Influence of Television ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
27	Unit 14. Summer or Winter ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
28	Unit 14. Summer or Winter ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
29	Topical Discussion and Presentation ①	Preparation for Presentation (概ね60分)
30	Topical Discussion and Presentation ②	Preparation for Presentation (概ね60分)
<b>教科書</b>	「My Opinion、 Your Opinion」 Paul McLean マクミラン ランゲージハウス	
<b>参考文献</b>	必要に応じて、授業内で指示する。	
<b>備考</b>	状況により遠隔授業に変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-03					
		●			●						
科目名	Media English				単位認定者	小松 義隆		授業内課題等	70	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間		
							授業回数		15 回		
授業の概要	<p>本科目は、英語ニュースや英字新聞などを題材として、時事問題に関する英語語彙、英語表現の獲得を目的とする。メディア英語に特有の文法事項、表現や略語等についても学ぶ。</p> <p>題材としては、BBCやCNNなどの実際のニュース映像を用い、語彙や表現を身につけるだけではなく、リスニングスキルの向上を図っていく。世界の最新ニュースへの関心を高めることも付随した目標である。これに加え、学生が興味をもつニュースや話題なども取り上げていき、選んだ題材を様々な形式で発表することで、学びを深めていく。</p>										
到達目標	<p>米有力紙<i>The Wallstreet Journal</i>中で世界へ「いま一番新しい日本」をレポートしている連載記事Japan Real Timeを題材にメディアの中で使われる英語に親和し、同時にニュースへの関心を高めることが目標である。身近なトピックが英語でどのように伝えられているかを学び、語彙や表現の幅を広げる。</p>										
学修者への期待等	<p>授業にはテキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）を必ず持参すること。授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、トピックに関する周辺情報まで調べておくこと。適宜グループワークも行うので積極的に意見を述べること。</p>										
回	授業計画				準備学修						
1	Unit 1 5 Things You Didn't know About Kawaii Kawaiiの美学				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
2	Unit 2 Uniqlo Finds Wealth of Data in Bangladesh Not-For-Profit Venture ユニクロが蓄積したお宝データ				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
3	Unit 3 When the B List Is Best 味が勝負のB級グルメ				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
4	Unit 4 Harverd Degree: The Political Economy of Kumamon くまモンの政治経済学				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
5	Unit 5 Saving Fukuoka's Street Food 福岡の屋台文化の歴史				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
6	Unit 6 A Japanese Artist Finds New Life A Year After the Quake ある芸術家の再生と「成長」				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
7	Unit 7 Fictional Japanese TV Banker Takes Double the Payback ドラマ『半沢直樹』ヒットの要因				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
8	Unit 8 As Sentiment Improves, Red Lipstick Back in Vogue 赤い口紅と景気の関係				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
9	Unit 9 Japan's Aging, Female Criminals? 女性受刑者の倍増と犯罪のグローバル化				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
10	Unit 10 Cult TV Travelogue Lets you Share Wednesday's Ride 『水曜どうでしょう』ロングヒットの秘密				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
11	Unit 11 Want to Cosplay? Then Lose That Sowrd コスプレを安全に楽しむ方法				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
12	Unit 12 Fukushima Watch: Who Wrote the New Anti-Nuke Novel? 反原発の新刊本を書いたのは誰？				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						
13	Unit 13 For Some, Scented Fablic Softeners No Laughing Matter 柔軟剤の流行と弊害				NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）						

回	授業計画	準備学修
14	Unit 14 The 1964 Tokyo Olympics: A Turning Point for Japan オリンピックに見る日本のターニングポイント	NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで (概ね1時間)
15	Unit 15 New for Valentine's Day in Japan: No Men バレンタインデーの新潮流	NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで (概ね1時間)
教科書	「日本で起きている15のあらゆること」 宮本文 2016 松柏社	
参考文献	授業内で随時指示	
備考	内容の進捗によってシラパスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)**

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-11		
		●			●			
科目名	Drama Workshop				単位認定者	金井 典子		試験 (レポート) 30 % 授業内課題 40 % 参加態度 30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	
					授業形態	演習	授業時間数	
							授業回数	
授業の概要	<p>今まで学修した英語コミュニケーション力を総合的に活用して、リーディングシアター、ショートプレイ、ミュージカルパフォーマンス等、英語でのパフォーマンスを作成し、発信することを目的とする。パフォーマンスを作成する際には、聴衆を意識し、いかに伝えるかということを考えることが必要であり、コミュニケーションの学びを深めることとなる。併せて、人前で英語で演技をすることで、英語を話すことへの自信をつけることにもつながる。大人数で一つのパフォーマンスを作り上げることにより、チームで協力する姿勢も培う。</p>							
到達目標	<p>1. 英語演劇に取り組むことで、英語による表現力を鍛え、発表に足るパフォーマンスをすることができる。 2. 履修生全員で一つの作品を作り上げることで、チームで働く力、意思決定の方法を身につける。 3. 原作の簡易版を読解し、作品の背景を理解する。</p>							
学修者への期待等	15回の授業以外にも、準備や練習に自主的に活動する必要があることを理解し履修すること。達成感のあるプロジェクトにするため、チームで結束する協調性を示すことを期待する。							
回	授業計画				準備学修			
1	授業の進め方、履修にあたっての心構え Drama Activity、Sherlock Holmesについて							
2	原作ストーリー“The Adventure of the Speckled Band”の理解				予習として、“The Adventure of the Speckled Band”を読み、内容を理解しておく（概ね40分）。			
3	Script (Scholastics)版の内容理解：編集							
4	舞台化のアイデア出し、グループディスカッション				予習として、Scriptを読み直し、舞台化するためのイメージを書き出してくる（概ね30分程度）。			
5	舞台化への役割決め（演者と裏方）、グループディスカッション							
6	Script の音読、プロソディ学修							
7	Stage Directionを決める。グループディスカッション				予習として、ディレクターの視点で、舞台構成を考えてくる（概ね30分程度）。			
8	Props、Costumes、Soundの決定、準備、グループディスカッション				予習として、舞台に必要な道具・衣装・音響等を考えてくる（概ね30分程度）。			
9	セリフ合わせ（演者） Props、Costumes、Sound 準備（裏方）				予習として、演者はセリフの表現方法の工夫、裏方は準備を進める（概ね30分程度）。			
10	Stagingでのセリフ合わせ（演者） Props、Costumes、Sound 準備（裏方）				個々の役割を完成形に近づける（概ね30分程度）。			
11	通し稽古：問題点を見つける グループディスカッション				個々の役割を完成形に近づける（概ね30分程度）。			
12	修正点の改善：通し稽古からの修正をほどこす。				個々の役割を完成形に近づける（概ね30分程度）。			
13	リハーサル：本番を想定した通し稽古をする。				個々の役割を完成形に近づける（概ね30分程度）。			
14	発表：学内から観客を招き、発表する。							
15	振り返り：Drama制作と英語学修について グループディスカッションと発表							
教科書	handoutを利用する。“Sherlock Holmes and the Midnight Killer” Scholastic Action 2020 Springより The Adventure of the Speckled Band. (Xreading収録)							
参考文献	授業時に適宜指示する。							
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。アクティビティが多いので、常に動きやすい服装で参加する。							

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)**

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-04				
			●		●					
科目名	観光ビジネス論				単位認定者	成澤 広幸		試験(筆記)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題	30 %
	現代英語学科	選択	2年			授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公共目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や組織が営利または非営利の目的をもって行うミクロ的なものとに分けられる。本科目では、企業や組織の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や組織がいかなるビジネスモデルに則って事業活動を展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。									
到達目標	様々な組織や団体の観光事業について概略を理解し、社会との関わりの中でどのような役割を果たしているのかを説明できるようになる。									
学修者への期待等	観光ビジネスは個別的な観光活動が対象ですが、難しく考えないで、身近な観光キャンペーンや地域おこしなどで観光が果たしている役割を考えれば、この授業はわかりやすくなります。									
回	授業計画				準備学修					
1	観光ビジネスのマネジメント特性：TDRのマネジメント				TDRのマネジメントのどこが優れているのかを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
2	観光ビジネスのイノベーション：楽天トラベル				旅行業における販売方法の進化について理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
3	観光ビジネスのグローバル経営：H. I. S.				H. I. S. の海外戦略について理解しておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
4	観光のマーケティング：下関観光コンベンション協会				地域の観光マーケティングを事例に則して考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
5	観光とWebビジネス：エクスペディア				エクスペディアのマーケティングの特徴を理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
6	旅行業：JTB				JTBの業務内容の変遷について調べておいてください。 予習：概ね30分。復習：概ね20分。					
7	宿泊業：星野リゾート				星野リゾートの方向性を調べておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
8	航空輸送業：ANA				レバニュー・マネジメントの例をANA以外でも調べておいてください。 予習：概ね30分。復習：概ね20分。					
9	鉄道ビジネス：JR九州				JR九州の活躍の理由を考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
10	テーマパーク：ハウステンボス				なぜリピーターになるのかを考えておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
11	グローバル時代の地域観光インフラ：統合型リゾート(IR)				IRの必要性について考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
12	地域のインバウンド事業：九州オルレ				なぜ九州オルレが成功したか考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
13	観光地の集客イベント事業：長崎さるく				故郷で観光を軸とした地域おこしをすれば何が必要かを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
14	地域ブランドの構築：宇都宮市				事例を参考に故郷の地域ブランドは何かを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
15	新しい旅行スタイル：進化する旅行者ニーズと観光創造				日本内外の観光行動についてのニュース、話題などに注意しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
教科書	特になし									
参考文献	高橋一夫その他『1からの観光事業論』碩学社。高橋一夫その他『1からの観光』碩学社。北川宗忠『現代の観光事業』ミネルヴァ書房。長谷政弘『観光ビジネス論』同友館。									
備考	原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。LMSなどで課題の提出を行う予定です。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-08			
				●	●				
科目名	フランス語Ⅱ			単位認定者	野中 みどり		小テスト	30 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	提出物	30 %
					授業形態	演習	授業時間数	30 時間	授業内の作業
							授業回数	15 回	確認小テスト
授業の概要	フランス語Ⅰに続き、フランス語でコミュニケーションを図るための学修を行う。既習の単語や表現を定着させ、さらに動詞や表現を増強する。教科書に沿い、自己表現の方法を学修し、グループワークで自由な練習を行い、内容の理解と応用を図る。トレーニングとして、発音練習、動詞の活用、単語の小テスト、数字や表現の聞き取りチェックを実施する。フランス語Ⅰと同様、日常表現を紹介し、平易な会話なら自発的に行うことができることを目指す。								
到達目標	①フランス語の発音と文法のルールを理解し実際に使うことができる。 ②モデル会話にしたがって自己表現の方法を身につけ、それらを活用して簡単な会話なら自発的に行うことができる。 ③家族や友人のこと、さらに自分の希望や理由などを表現し、同様の相手の話を理解できる。 ④簡単な挨拶や日常表現を覚えて使えるようになるとともにフランスの文化や社会について知識を得る。								
学修者への期待等	授業で指示された単語リストや表現を覚えて小テストに臨み、それらの単語や動詞を次の会話で使えるように練習してください。授業内では積極的に発音・会話練習に参加し、授業後はモデル会話を復習して学んだ表現を毎回ノートにまとめてください。								
回	授業計画			準備学修					
1	先に学習した内容の復習。7課(1) 学習：モデル会話「時刻の表現」、疑問詞quel。グループワーク(以下g)：会話練習。トレーニング(以下t)：発音、聞き取り。			指示された課題を提出できるよう準備しておく(概ね2時間)。					
2	7課(2) 学習：モデル会話「時刻の表現」、ir動詞の活用。g：会話練習、活用練習。t：活用、発音、聞き取り。			練習問題を解く、小テストに向けてir型動詞の活用を覚える(概ね1時間)。					
3	7課(3) 学習：モデル会話「時刻の表現」、疑問詞「何を」、動詞の活用。g：会話練習、活動の語彙。t：活用、発音、聞き取り。			7課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて数字と動詞の活用を復習する(概ね2時間)。					
4	8課(1) 学習：モデル会話「予定・したいこと」、近接未来、動詞の活用。g：会話練習、乗り物の語彙。t：活用、発音、聞き取り。			練習問題を解く、小テストに向けて動詞faireの活用を覚える(概ね1時間)。					
5	8課(2) 学習：モデル会話「終えたこと・できること」、近接過去、動詞の活用。g：会話練習、旅行の語彙。t：発音、聞き取り。			練習問題を解く、小テストに向けて動詞の活用を復習する(概ね1時間)。					
6	8課(3) 学習：モデル会話「理由・痛い所を言う」、avoirを使った表現。g：会話練習、身体部位の語彙。t：活用、発音、聞き取り。			8課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて動詞の活用を覚える(概ね2時間)。					
7	9課(1) 学習：モデル会話「日常の行動」、代名動詞、指示形容詞。g：会話練習、行動の語彙。t：発音、聞き取り。			練習問題を解く、小テストに向けてavoirを使った表現を復習する(概ね1時間)。					
8	9課(2) 学習：モデル会話「天気を言う」、非人称表現。g：会話練習、時の表現の語彙。t：活用、発音、聞き取り。			9課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて代名動詞の活用を覚える(概ね2時間)。					
9	10課(1) 学習：モデル会話「場所を言う」、定冠詞の縮約。g：会話練習、位置を表す語彙。t：語彙、発音、聞き取り。			練習問題を解く、小テストに向けて天気の表現を復習する(概ね1時間)。					
10	10課(2) 学習：モデル会話「道順を教える」、命令形。g：会話練習、行き方の語彙。t：語彙、発音、聞き取り。			練習問題を解く、小テストに向けて位置を表す表現を復習する(概ね1時間)。					
11	10課(3) 学習：モデル会話「道順を教える」、命令を表す他の表現。g：会話練習、場所の語彙。t：語彙、発音、聞き取り。			10課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて場所に関する名詞を覚える(概ね2時間)。					
12	11課(1) 学習：モデル会話「過去のことを言う1」、複合過去形1。g：会話練習、過去分詞の語彙。t：活用、発音、聞き取り。			練習問題を解く、小テストに向けて動詞avoirの活用を復習する(概ね1時間)。					
13	11課(2) 学習：モデル会話「様々な否定表現」、否定表現、中性代名詞en。g：会話練習、代名詞を使う。t：発音、聞き取り。			11課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて過去分詞の音と意味を覚える(概ね2時間)。					
14	12課(1) 学習：モデル会話「過去のことを言う2」、複合過去形2。g：会話練習、過去分詞の語彙。t：活用、発音、聞き取り。			練習問題を解く、小テストに向けて動詞の活用を復習する(概ね1時間)。					
15	表現と数字の確認小テスト、12課(2) 学習：中性代名詞y、代名詞のまとめ。g：会話練習、代名詞を使う。t：発音、聞き取り。			確認テストに向けて表現の復習をする、12課を復習して練習問題を解く(概ね2時間)。					
教科書	「Salut, tout facile! やさしいサリュ(改訂版)」田辺保子 他著 駿河台出版社								
参考文献	仏和辞書(電子辞書も含む)。初回授業で簡単な案内を聞いた後、必要な場合は購入してください。 NHK Eテレ「旅するためのフランス語」 放送：木曜日23:30から23:55 再放送：翌週月曜日午前6:00から6:25 (番組名や放送時間については現時点のもので、今後変更になる可能性があります)。								
備考	【小テスト】実施後に解答解説し、採点結果を次の回で返却する。関わる達成目標は①、評価の基準は解答の正確性100%。 【提出物および授業内の作業】添削して次の回で返却する。関わる達成目標は②③、評価の基準は解答の適切さ50%、理解度50%。 【確認小テスト】実施後に解答解説する。関わる達成目標は④、評価の基準は解答の正確性100%。 状況により、遠隔授業になる場合がある。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--



学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-04				
		●	●	●	●					
科目名	総合演習Ⅲ				単位認定者	小松 義隆		試験 (レポート)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の 方法	授業内課題等	10 %
					授業形態		演習		授業時間数	30 時間
							授業回数			15 回
授業の概要	本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目指す。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。									
到達目標	作品が執筆された時代、社会背景について調査し、語、熟語、英文の意味を文脈に即して正確に把握することができる。精読を通じて作品の面白みを味わいながら内容への造詣を深めることができる。英米語の表現の違い等について気づき、理解することができる。1作品翻訳することによる達成感と自信を感じることができる。									
学修者への期待等	本授業では「総合演習Ⅱ」で扱った英語文学作品と同程度の語彙レベルの作品をテキストとして使用します。「総合演習Ⅰ」、「総合演習Ⅱ」では英文学作品をとり挙げましたので、本授業では米文学作品を英米の違いを意識しながら精読します。執筆された当時の歴史背景や英米の表現の違い等も各自で調べてください。各授業回で担当した範囲の内容の発表や担当箇所が出てきた興味深い語彙や、構文、周辺情報等を発表してもらいますので合わせてノートに書き留めてください。最終的にそれぞれに翻訳ノートを提出して頂きます。									
回	授業計画				準備学修					
1	新テキストへの導入と購読				テキストを各自購入しておき、テキストの構成を概観して読書翻訳計画を立てておいてください。(概ね1時間)					
2	作品講読と翻訳(1. Four sisters中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
3	作品講読と翻訳(2. A Happy Christmas中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
4	作品講読と翻訳(3. The Laurence boy中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
5	作品講読と翻訳(4. The house next door中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
6	作品講読と翻訳(5. A surprirse for Beth中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
7	作品講読と翻訳(6. Amy in trouble中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
8	作品講読と翻訳(7. Meg hears some gossip中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
9	作品講読と翻訳(8. All play and no work中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
10	作品講読と翻訳(9. Secrets中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
11	作品講読と翻訳(10. A telegram中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					
12	作品講読と翻訳(11. Beth中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関するの周辺情報、気になった表現などの発表				担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査(インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ(概ね1~2時間)					

回	授業計画	準備学修
13	作品講読と翻訳 (12. Love and Mr Brooke中の担当箇所), 内容の発表, 担当箇所についての周辺情報, 気になった表現などの発表	担当箇所の精読と翻訳, 作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等), 気になる語彙や表現のまとめ (概ね1~2時間)
14	作品講読と翻訳 (13. Laurie makes trouble and Jo makes peace中の担当箇所), 内容の発表, 担当箇所についての周辺情報, 気になった表現などの発表	担当箇所の精読と翻訳, 作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等), 気になる語彙や表現のまとめ (概ね1~2時間)
15	作品講読と翻訳 (14. Happier days中の担当箇所), 内容の発表, 担当箇所についての周辺情報, 気になった表現などの発表 講読内容の要約・感想文作成と発表	予習と提出用翻訳ノート, 読後感の作成 (概ね3時間)
<b>教科書</b>	Oxford Bookworm Library Oxford University Press Jonathan Swift <i>Gulliver's Travels</i> (Stage 4) Oxford Bookworm Library Oxford University Press Louisa May Alcott <i>Little Women</i> (Stage 4)	
<b>参考文献</b>	「イギリス・アメリカ文学史 作家のこころ」 福田 昇八 南雲堂	
<b>備考</b>	辞書必携, 逐次参照。状況により遠隔授業に変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

**実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)**

--

現代英語学科 学科教員一覧

	職位	氏名	研究室	電話番号	E-mail
1	教授 (学科長)	スミス アンソニー SMITH ANTHONY	スミス 研究室	022-302-5489	a_smith@seiyogakuin.ac.jp
2	教授	ジョーンズ ドミニク JONES DOMINIC	ジョーンズ 研究室	022-302-5490	d_jones@seiyogakuin.ac.jp
3	教授	カナイ ノリコ 金井 典子	金井 研究室	022-302-5491	n_kanai@seiyogakuin.ac.jp
4	准教授	コマツ ヨシタカ 小松 義隆	小松 研究室	022-302-5584	y_komatsu@seiyogakuin.ac.jp
5	講師	アイタ アキコ 相田 明子	相田 研究室	022-302-4890	a_aida@seiyogakuin.ac.jp

現代英語学科 実務経験を有する教員一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
法律入門	2	鈴木 翔太	公認会計士（法定監査、株式上場支援、内部統制構築支援等業務に従事）
ビジネスプロトコール	2	加藤 雅子	元 航空会社キャビンアテンダント、 接遇マナー、研修業務等の代表
キャリア形成演習 I	1	川出 裕佳	現在キャリア関係会社にて勤務。公共機 関で勤務等10年以上の実務経験を持つ。
キャリア形成演習 II	1	加藤 雅子	元 航空会社キャビンアテンダント、 接遇マナー、研修業務等の代表
秘書実務	2	細川 久美子	10年以上の実務経験があり、現在、人 事・教育サービス会社の取締役である。
	8	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
	62	設置基準上の標準単位数	